

リニア中央新幹線10月着工？

大井川流量減少、生態系への影響等…問題は解決したのか？

**リニア中央新幹線建設について申7号で申し入れ
経営協議会で組合に説明せよ！**

マスコミは「太田国交相は7月18日、リニア中央新幹線の『環境影響評価書』に対する『意見書』をJR東海に手交した」と報じました。また8月19日には、「リニア中央新幹線について、順調に手続きが進めば10月にも着工する見通しになった。JR東海は近く、リニア中央新幹線の環境影響評価書（アセスメント）を補正した上で、工事実施計画を国土交通省に申請する方針。JR東海の幹部は『認可されれば一日も早く着工したい』としている」などと報じました。

会社はこの間「中央新幹線計画については、必要なタイミングで経営協議会等で説明する」としていますが、環境影響評価書を提出した時も、またそれに対する意見書が手交された時も労働組合に何ら説明していません。説明なしで計画を進めることは労働組合軽視と言わざるを得ません。

JR東海労は『申7号』で、経営協議会を開催し中央新幹線建設について説明するよう申し入れました。

『NO！リニア80号』も参照して下さい。

申7号の概要

1. リニア中央新幹線建設に関する経営協議会を早急に開催せよ
2. 国交大臣の環境影響評価書に対する意見の内容を明らかにすると共に、意見に対する会社の具体的対応を明らかにせよ
3. 会社はリニア中央新幹線の具体的着工時期を公表したのか明らかにせよ
4. 「ペイしないリニア中央新幹線」を建設し運営する目的を明らかせよ
5. 静岡県が設置している「環境保全会議」のようなリニア中央新幹線に関する「会議」は他にないのか明らかにせよ
6. 「ペイしないリニア中央新幹線」は会社の収支を悪化させ社員の労働条件切り下げにつながる。リニア中央新幹線建設をやめろ